

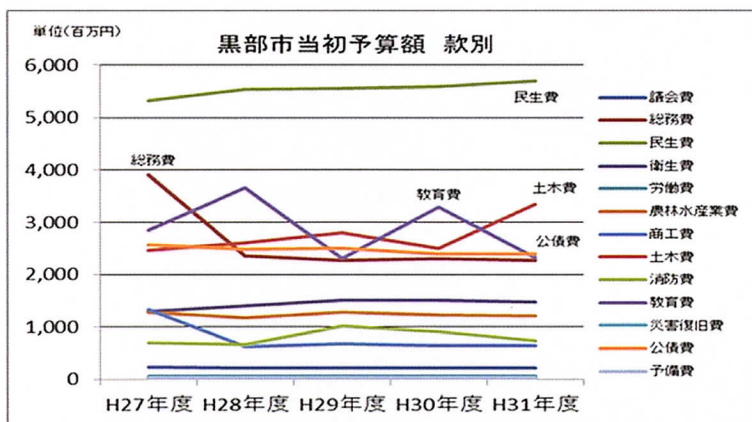
黒部を未来へつなぐ

平成31年度当初予算

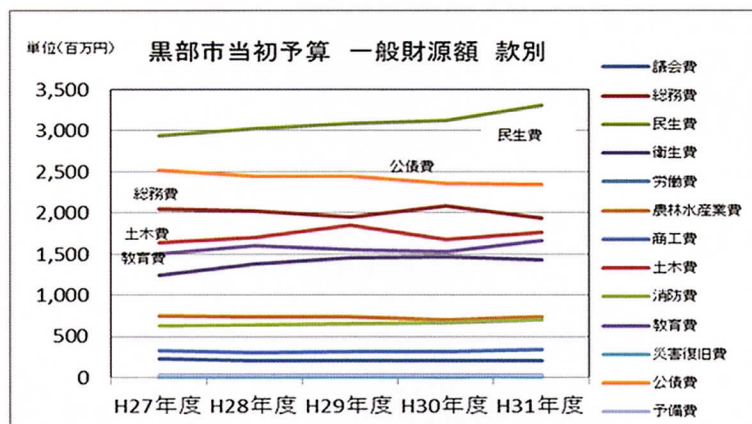
～少子高齢化、人口減少の克服による持続的な成長経路の実現に向けた未来創造型施策～

当初予算額では、教育費や総務費の増減が目立ちますが、一般財源では見えません。それは、市役所建設や中学校建設・大規模改修に国庫支出金や地方債などの特定財源が充てられているためです。

国際文化センターや公園施設の予算など、今後は既存の公共物の長寿命化メンテナンスにお金が掛かってきます。



財源の使途が特定されず、自治体の裁量で自由に使える収入が一般財源。どこに力を入れて予算を組んでいるのかを一般財源額で見ました。



主な増減 (H30年度⇒H31年度)

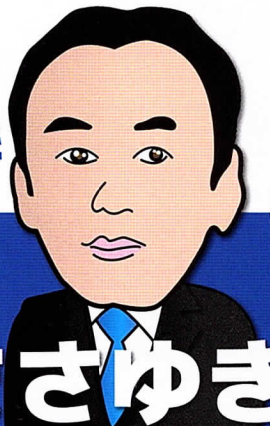
◎減額

- ・桜井・宇奈月統合中学校屋内運動場・武道場建設事業 (12億7,378万円⇒8,872万円)
- ・宇奈月消防庁舎整備事業 (2億1,510万円⇒0万円)

◎増額

- ・道の駅整備事業 (7,521万円⇒3億4,766万円)
- ・荻生駅ホーム待合室等整備事業 (0円⇒7,920万円)
- ・小中学校スクールバス購入費 (0円⇒9,385万円)
- ・国際文化センター外壁・屋上防水改修事業 (0円⇒8,922万円)
- ・公園施設長寿命化事業 (0円⇒1億2,500万円)

今年度は、グラフで民生費・土木費・教育費が増額されているのが分かります。もっと詳しく見てみると、民生費は保育所費。土木費は都市計画費、教育費は中学校費が増額されています。保育料無償化・中学校統合などの準備等ですが、気になるのが都市計画費の下水道事業費増額です。特別会計・企業会計の状況を注視する必要を感じます。



黒部は今、分岐点！ 先人の努力を次世代へつないでいきたい。



なりかわ 成川まさゆき

facebookで活動公開中！

【平成 30 年 12 月議会 一般質問】

<遊びに行きたくなる公園に>

1. 都市公園の活性化について

(問)「都市公園」の現状と課題。魅力ある公園へ

(答) 全 33 公園で、多くが整備から 30 数年経過し、遊具等の老朽化が進行している。利用者の多様化するニーズへの対応が課題。

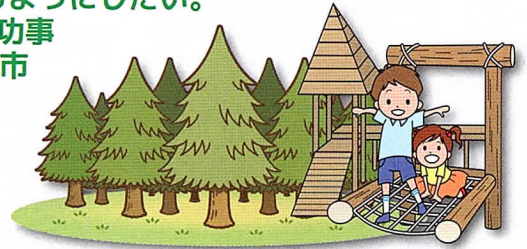
(問)「パークマネジメント」導入を

(答) 現在、運営に関しては話し合う場が無いが、導入の考えはない。

【まさゆきの視点】

利用する人が居てこそ、公園の価値がある。見えている課題は、解決に向けて取り組むべき。みんなが遊びに行きたくなる公園にして黒部って面白いね！そう言われるようにしたい。

全国には成功事例があり、本市で出来ない訳がないと思っています。



【子どもの元気な声が聞こえるまち】

2. 子どもたちの外遊びについて

(問) 子どもたちの遊びの現状は

(答) 外で遊ぶようになっていない。



(問) 次期「黒部子ども・子育て支援事業計画」に外遊びの重要性を盛り込めないか

(答) 次期計画には、施策の方向性に外遊びの視点を加え、子どもたちがいきいきと外で遊ぶ機会が増えるように検討、推進する。

【まさゆきの視点】

今の子どもたちが大人になった時、記憶の中に黒部の自然は残るのでしょうか。黒部での思い出は何になるのでしょうか。子どもの元気な声が聞こえるまちにしたいと思っています。ように願います。

(問) 本市に「冒険遊び場」いわゆる「プレーパーク」整備と外遊び指導員の養成について

(答) 既存の公園施設でも色々な体験が出来るのではないかと考える。指導員については、児童クラブ指導者協議会等の関係団体と協力していきたい。

【誰もが自立できる地域に】

3. 障害者就労について

(問) 市の障がい者雇用の現状と今後の対応について

(答) 11.5 人の不足を非常勤職員の勤務時間見直しや、仕事内容の再構築で雇用拡大。不足分は来年度以降、正職員「障がい者雇用枠」の設定を検討し、非常勤職員は、通年募集する。

(問) 企業と障がい者とのマッチング強化、サポートについて

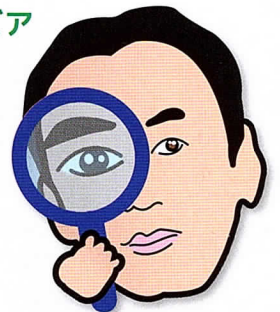
(答) 一人ひとりにあった場で働くことができるよう支援する。



【まさゆきの視点】

外国人労働者雇用がクローズアップされていますが、それは働きたい日本人をしっかりとフォローした上での議論だと思っています。

官民一体となって、人材を活かす取り組みを期待します。



【平成 31 年 3 月議会 代表質問】

<二度と起こさない取り組みを！>

1. 官製談合事件を受けて

(問) 今回の事件発生の最大の要因は

(答) 市職員の倫理観や法令順守意識の低下が最大の要因。また、管理監督職員指導や日々のコミュニケーション、職場内のチェック等、不正を未然に防止する組織体制が不十分。

(問) 今後の入札方法と再発防止策は。

(答) 税込設計金額 300 万円以上 1,000 万円未満の工事の予定価格を事前公表とする。

<再発防止策として>

- ①職員自身が「発注に係る秘密漏洩」することのないようにすること
- ②綱紀保持に関する理解と意識を向上させコンプライアンスを高めること
- ③職員が不当な働きかけを受けた場合の対応を明確にすること

以上を遵守し、黒部市官製談合防止マニュアル作成、職員研修実施。また、職員不祥事等再発防止委員会を設置し、原因の究明と現行制度の検証を行っていく。

【まさゆきの視点】

このような事件を二度と起こさないために、しっかり取り組んでいただきたい。



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会
連絡先

成川正幸 (なりかわ まさゆき) TEL (0765)57-1189
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com



<平成31年度予算が可決！>

2. 平成31年度予算編成と行政改革について

(問) 一般会計から特別会計等への繰出金の増加をどう見ているか

(答) 独立採算の原則に加え、受益者負担の適正化の観点から、健全な経営に必要な繰出金の適正化に努め、一般会計からの繰出を抑制していきたい。

(問) 合併特例措置の算定替え終了による減額の影響は

(答) 現行水準が維持されていくものと推計しているが、本年10月の消費税率引き上げに伴う臨時措置や幼児教育無償化等の動向が不透明なことから、それらを注視していく必要がある。

(問) 税収入以外の収入増の取り組みは

(答) 市有財産を広告媒体として活用する検討を行っているほか、新年度予算では、ふるさと黒部サポート寄付促進事業費を拡充し、寄付件数・寄付金額の増加を目指している。

(問) 計画と地価価値・エリア価値との関係性は。また、エリア価値を上げるためにチカラを入れていることは。

(答) 都市全体の構造を見直し、コンパクトなまちづくりを進めることが財政面での持続可能性の向上と都市経営の推進に寄与する。

(問) 施設利用料金見直しは、消費税分のみか

(答) 今回の見直しで、消費税以外の改定はない。

【まさゆきの視点】

現状を検証し、効率的な行政運営と将来に過度な負担にならないように、しっかりチェックしていきます。



【最小の経費で最大の効果を！】

3. 自治体連携について

(問) 昨年からの連携の実績は

(答) 昨年11月の2市2町の首長が行った台湾プロモーションや、近隣自治体との大都市圏での移住セミナー、ももクロライブ開催自治体間での自治体連携協定など。自治体以外との連携では、昨年11月に黒部商工会議所及び富山国際大学と市の3者による包括連携協定を締結した。

(問) 連携事業を進めている思いと今後の考えについて

(答) 近隣の自治体が連携し、地域の行政課題を一緒になって克服していくことは大変重要であり、更に幅広く連携したい。

【まさゆきの視点】

大野市長が就任後、連携事業が多くなった。最小の経費で最大の効果を上げるための施策の一つであり、自然災害がいつ発生するのか分からない時代であることから有効だと考えます。

【平成31年3月議会 個人質問】

1. 子供たちの安全・安心に向けて、不審者侵入防止について (問) 幼稚園・保育所・小中学校の侵入防止対策は

(答)

	保育所・幼稚園	小中学校
敷地内進入防止の有無	14施設中6施設に玄関門扉があるが、解除可能で、侵入者の防止不可。	門扉や柵、ブロック塀などがあるが、侵入者の防止不可。
不審者侵入防止のための施設の施錠状況	玄関は通常は施錠。来客時は玄関ベルやインターフォンで対応し、送迎時間のみ施錠を解除。園庭側は、窓を開けていることあり。	児童生徒の登校や下校に合わせて開錠。4校にオートロック設置済。(たかせ小、桜井小、宇奈月小、桜井中)
不審者発見時の連絡・通報体制	不審者を確認した時点で迷わず直ちに110番し、警察に通報するように全職員で共通認識している。	教育計画書や危機管理マニュアルに基づき、速やかに黒部警察署ほか関係機関に通報する。
防犯グッズの配置状況	全施設に刺股と催涙スプレー、非常回転灯設置。各部屋に防犯ブザー設置。玄関やフェンス等には注意看板を設置。	全学校に刺股を配置。その他、校内電話の設置や防犯のブザー、防護用の盾を設置している学校あり。
防犯カメラの配置状況	現在、私立保育所2か所で設置済。その他の施設では未設置	小学校7校、中学校2校で設置済。2019年度に荻生小・若栗小、鷹施・高志野中に設置予定。
防犯訓練の実施状況	全施設で年間の避難訓練計画に組み込み、年に2~3回実施。また、所長・園長を対象に警察から不審者対応に関する研修を適宜実施。	侵入経路等について、具体的な場面を想定し、マニュアルを確認しながら、年度内に1回以上不審者対応の訓練実施。
マニュアルの作成状況	不審者対応マニュアルを年度当初に施設的全職員で確認し、訓練を実施。	教育計画書、危機管理マニュアルを作成し、毎年、見直しを実施。

【まさゆきの視点】全国各地で子どもが犯罪に巻きこまれる事案が後を絶ちません。安全が確保されてこそ、安心して教育を受けることが出来ます。しっかりとした準備と対策が必要です。

未来の黒部のために教育に投資を！

2. 小中学校のICT「情報通信技術」の取り組みについて

(問) 本市の小中学校におけるパソコン導入の現状は

(答) 教員は小中学校とも1人1台。小学校児童は、パソコン室で2人1台。今年度から1人1台に進めている。
中学校生徒は、パソコン室で1人1台。
Wi-Fiの整備は、宇奈月小学校に整備。
他校については、無線アクセスポイントの試験的導入を一部実施している。



(問) 本市のICT環境整備計画は

(答) ICT環境整備計画は無いが、機器の配備計画により進めている。

(問) 本市のICT支援員の活用の現況と今後の導入の考えは

(答) ICT支援員は無。今後、最適なICT環境整備に向けて検討を進めていく。

まさゆきの視点

2020年から小学校でプログラミング教育が始まります。子供たちの教育環境の整備は未来の黒部市にとって重要です。

なりかわ 黒部市議会議員
成川まさゆき

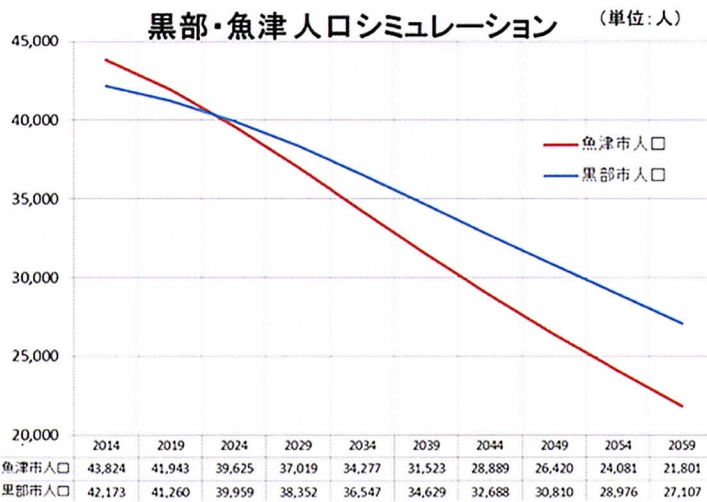


facebook®で
活動公開中!



～将来人口から黒部の未来を予測する～

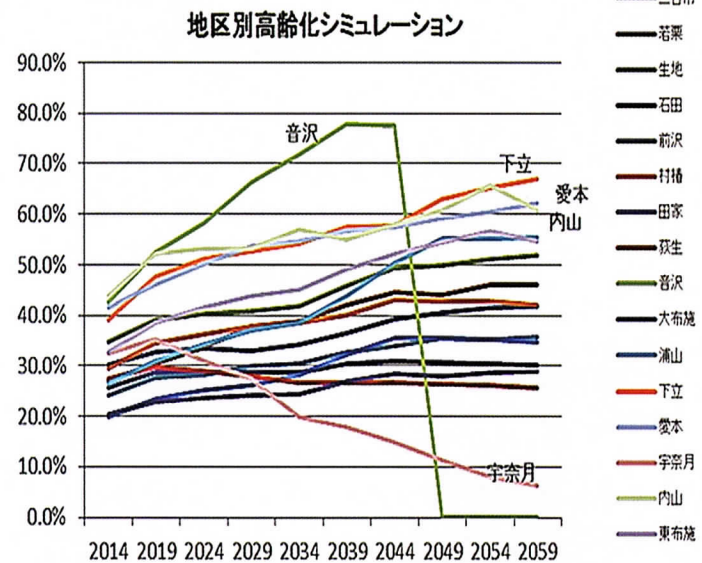
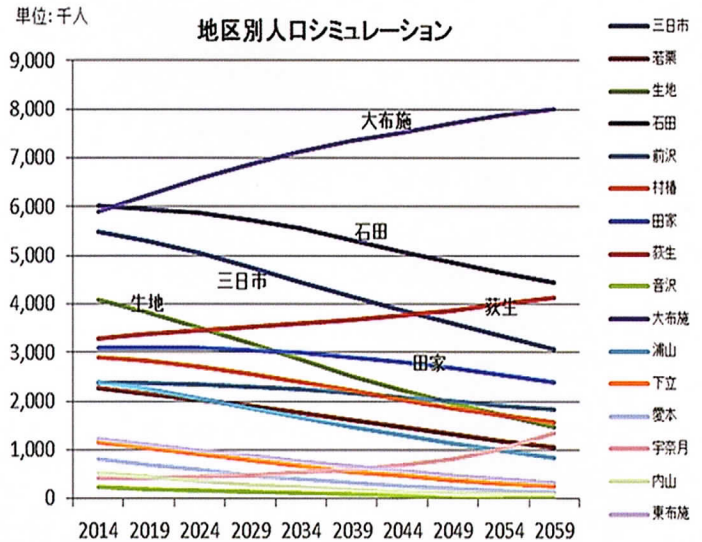
区分(単位:人)3月末	黒部市	魚津市	人数比
H30年度に生まれた数	265	237	28
15歳未満人口	4,959	4,507	452
15～64歳人口	23,505	23,400	105
65歳以上人口	12,796	14,036	-1,240
総人口	41,260	41,943	-683
対前年(人)	-217	-281	64



地区別の人口シミュレーションを算出してみました。人口が増加するのは、大布施、荻生、宇奈月の3地区。その他地区は全て減少。高齢化シミュレーションで音沢地区が急降下しているのは、0人になることを意味しています。

2014年3月から2019年3月までの5年間の人口をコーホート変化率法により独自で算出した数値です。黒部市人口ビジョンに掲載されている数値とは異なります。あくまで参考値で確定するものでもありません。

また、この数値は今後、何の対策もしなかった数値であり、出生率向上や移住定住対策等で変化します。



まさゆき mini 見聞録



全国若者引きこもり協働実践交流会 in あいち



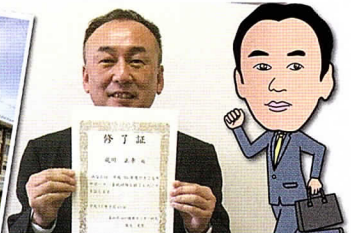
渋谷はるのおがわプレーパーク



地方議員研修会(大津市)



朝の交通安全



引きこもりサポーター養成研修

KENBUNROKU

なりかわ facebook で活動公開中!
成川まさゆき



なりかわ
成川まさゆき後援会

〒938-0014 富山県黒部市植木 107-7
TEL & FAX (0765) 57-1189
Mail/masa.narikawa@gmail.com